

「京極町国民健康保険病院改革プラン」の達成状況

1. 経営効率化に係る計画の達成状況

改革プランでは、計画期間内に達成を目指すための指標として、「財務に係る数値目標」と「医療機能に係る数値目標」を掲げているが、この数値目標の考え方は平成 24 年度に経営形態を見直すことを前提に、現行の水準を維持する数値を設定している。

医業収益は、平成 20、21 年度とも患者数の減少により計画を下回っている。特に新型インフルエンザが発生した 21 年度は、入院患者数（計画比 ▲ 27.5 %）・外来患者数（計画比 ▲ 16.8 %）とも計画を大きく下回っている。

①財務に係る数値目標

	平成 20 年度		平成 21 年度			摘 要
	計画	実績	計画①	実績②	達成状況 ②-①	
経常収支比率	100.0	97.3	100.0	95.5	△ 4.5%	経常費用に対する経常収益の割合
医業収支比率	77.0	73.9	77.0	72.5	△ 4.5%	医業費用に対する医業収益の割合
職員給与費比率	53.1	60.0	53.1	60.0	6.9%	医業収益に対する職員給与費割合
病床利用率	32.5	32.0	38.2	27.7	△ 10.5%	—
平均在院日数	20.0 日	20.9 日	20.0 日	20.1 日	0.1 日	—
患者 1 人 1 日当たり診療収入(入院)	22,549 円	21,980 円	22,663 円	18,170 円	△ 4,493 円	—
患者 1 人 1 日当たり診療収入(外来)	11,316 円	11,114 円	11,000 円	14,329 円	3,329 円	—
職員数(全体)	30 名	30 名	30 名	31 名	1 名	—

②医療機能に係る数値目標

	平成 20 年度		平成 21 年度			
	計画	実績	計画①	実績②	達成状況 ②-①	
年間入院患者数	5,100 人	5,027 人	6,000 人	4,384 人	△ 1,616 人	—
年間外来患者数	19,000 人	18,700 人	20,000 人	16,645 人	△ 3,355 人	—

2. 具体的な取り組みの進捗状況

①民間的经营手法の導入

○計画

- ・町内唯一の一般病院であり、本町が抱える保健・福祉・介護との連携を考慮しながら、今後 3 年間(平成 21 年度～23 年度)の中で選択肢の一つとして検討する。

○具体的取り組み

- ・高齢者が在宅で暮らせるよう、入退院時における必要な情報は保健・福祉・介護と常に連携を取るよう努めている。
- ・今後、院内の担当者（看護師長・他 1 名）を決め、地域との連携強化に努める。

②事業規模・形態の見直し

○計画

- ・平成 24 年度を目途に診療所化を検討する。

○具体的取り組み

- ・平成 22 年度に具体的方針を決定すべく、本年度「国保病院規模の適正化計画に向けて方針提案と解決策の調査分析」を経営コンサルティングに業務委託をしている。
- ・職員が地域医療の研修会に積極的に参加をしている。
- ・町民向けに「地域医療」の講演会を実施し、町民と共に地域医療を考える取り組みを行っている。

③経費削減・抑制対策

○計画

- ・医療費用経費のうち、既に 4 割は業務委託しており、今後については業務内容や契約方法等の見直しを行い、委託経費の削減を図る。
- ・薬品については、平成 15 年度より院外処方を実施しており、在庫の管理等経費の削減に努めている。材料費の購入についても、単価見積りを徴収し、最も安価な業者を指定し購入している。今後も尚一層管理の徹底とコスト削減に努める。
- ・職員全体に意識改革の研修を取り入れ、経費削減に向けた取り組みを行う。

○具体的取り組み

- ・薬品の単価見積りを実施し、安価な価格での購入と在庫の管理の徹底を行っている。
- ・備品等の購入についても見積りを実施し、尚一層コストの削減に努めている。
- ・ゴミの分別を徹底し、感染性廃棄物の削減に努めている。

④収入増加・確保対策

○計画

- ・地域医療を担う看護師等の専門性や知識の向上をめざして、院内研修の実施や外部研修への参加を積極的に促進し、地域の方に信頼され、選ばれる病院を目指す。
- ・事務局のみならず、医療部門においても診療報酬等に関する研修を実施し、知識の向上と部門別の連携を強化し請求漏れの削減に努める。
- ・従来から未収金の発生防止に向け、退院時に精算できる体制に努めてきたが、今後についても未収金発生防止に努める。さらに、過去からの未収金について訪問徴収等実施し回収に努める。

○具体的取り組み

- ・全職員を対象にした研修（4 回）を実施し、職員の意識改革に取り組んでいる。
- ・21 年度の未収金の発生はなく、過去の未収金についても訪問徴収を実施し、滞納額の 60 %を回収した。

3. 収支計画の達成状況

医業収益は、入院・外来ともに患者数の減少により 90 %の達成率になっている。

医業外収益は町からの繰入金の減少により 97 %の達成率、経常収益は 92 %の達成率になっている。

医業費用は、職員給与費が福利厚生費等の増により 2 %の増、材料費が新型インフルエンザの発生により 5 %の増になっているが、経費が 30 %の減により、計画の 96 %の達成率になっている。経常費用全体では 97 %の達成率になっている。

経常収支比率は 95.5%、医業収支比率は 72.5%、病床利用率は 27.7%になっている。